

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2025 年度
事業報告書



わたしが変わる。
未来が変わる。

2025 年度 事業報告書 目次

ガールスカウト日本連盟 使命・活動基本方針・ビジョン 2032	2
ガールスカウト日本連盟 2025 年度事業総括	3
 2025 年度（令和 6 年度）事業報告	6
（１）公益目的事業について	6
公 1－1）ガールスカウト教育の計画策定と推進	6
公 1－2）ガールスカウト教育の推進のための指導者養成事業	10
公 1－3）ガールスカウト教育に必要な資料・教材等の開発及び頒布	14
公 1－4）社会連携事業	15
公 1－5）ガールスカウト教育に必要な施設の運営	22
 （２）収益事業について	23
 （３）ガールスカウト日本連盟運営のための事業	24
 （４）運営体制の充実に向けた方策	28

ガールスカウト日本連盟 使命

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。

ガールスカウト日本連盟 活動基本方針

ガールスカウトは
少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、
リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、
社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。

ガールスカウトは自らが行動していく運動です。日本では 100 年前から「自分で考え、行動できる女性」を育てるノンフォーマル教育に取り組んできました。ガールスカウトの少女たちは、人との関わりを通して、さまざまな役割と活動を経験していく中で、豊かな人間性を身につけていきます。そして、自分の人生を自分で切り拓く力をもった女性に育っています。

私たちのこれからの挑戦は「女性がその可能性を最大限に発揮できる社会環境をつくりあげていく」ことです。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすことを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をもたらす行動を積極的におこない、貢献していきます。

ガールスカウト日本連盟 ビジョン 2032

ガールスカウトは、「すべての少女と女性が自分らしく生きられる社会」を目指して行動する女性を育てる。

ガールスカウト日本連盟 2025 年度事業総括

『戦略計画 2021-2023』で掲げた課題解決のための5つのテーマに対し、3年間取り組んだことを踏まえ作成した『戦略計画 2024-2026』のもと、5つの課題を解決するために、

- ・状況の変化に対して素早く対応する
 - ・適切に対応を評価し、柔軟に計画を修正し次の計画をおこなう
- ことを意識しながら、ビジョン 2032 の実現に向けて取り組みを進めました。

『戦略計画 2024-2026』において取り組むべき課題

1. ねばならない意識が強い
2. 現代社会において、少女・女性が必要とする教育を、年代に合わせて適切に（質・量）提供できていない
3. 組織の運営や情報活用の方法が時代に適していない
4. 運動の仲間の減少が続いている
5. 社会に対してのアピール度が低い

各テーマに関する取り組みについて

1. ねばならない意識からの脱却

持続可能なガールスカウト運動に向けて、2024 年度におこなった都道府県連盟・団・会員への調査および海外連盟へのアンケートの分析を進めるとともに、2025 年度は更にこれからのガールスカウト運動の担い手となるユース年代に対してもアンケート調査をおこないました。これらの結果から、組織としてはもちろんのこと、会員一人ひとり個人が活動を継続しやすいよう、仕組みの見直しや改善に向けて検討を開始しました。

加えて、『戦略計画 2027 - 2029』の策定に向けて、課題の洗い出しをおこない、『戦略計画 2024 - 2026』の最終年となる 2026 年度に向けて取り組むべきことについて着手しました。

2. 現代社会において、少女・女性が必要とする教育を、年代に合わせて適切に（質・量）提供する

STEAM 系のバッジや Free Being Me 第3段階の取り組みが促進されるよう、主に指導者を対象として「大人の Free Being Me 体験集会」「FBM キャラバン」「バイナリーバッジリーダー向け勉強会」を開催し、それぞれのプログラムに直接触れることで、少女たちへの声のかけ方などを学ぶ機会としました。また日頃の集会やキャンプをおこなう際のスキルアップの機会として「全国のリーダーあ・つ・ま・れ！」オンライン研修を3回開催しました。

より多くの方にガールスカウトについて知っていただけるよう、リーダー養成講習の実施方法を見直し、一般の方にも見ていただける動画を作成しました。

ユース年代の活躍の機会として、さまざまな事業に参画できるように実施しました。特に年長部門地区事業では、クリエイティブチャレンジプログラムを実施するファシリテーターとして 58 人のユース年代会員が 7 地区でプログラムを提供し、少女たちのロールモデルとしての役割も果たしました。

レンジャーキャンプでは、今後起こり得る災害に備え、災害の現場で状況を判断し、地域において日頃の取り組みをいかしていけるよう、避難所運営の視点を学び、自らが地域でできる防災プログラムの企画をおこないました。参加者がコミュニティアクション チャレンジ 100 アワードや B-P アワードにチャレンジすることに期待しています。

3. 現代に適した組織の運営や情報活用をおこなう

組織面においては、都道府県連盟や団が継続的に運営できるよう、多様で柔軟な組織運営の方法等を都道府県連盟運営者向け事業などの機会を通して相互に共有できる機会を設けており、各都道府県連盟の異なる状況に応じた支援、日々の相談対応をおこなっています。

2032 年に向けた組織の検討のために前年度実施した、各都道府県連盟や団の状況を把握する調査の結果を分析し、方策について日本連盟で検討を進めるとともに、次の戦略計画に向けた方針や日本連盟のおこなうべき事業について連盟長会議等で都道府県連盟と共に考え、意見を聴取する複数の機会を設けました。

前年度に改定した『子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドライン』の普及に加え、通称「こども性暴力防止法」への対応についての検討を進めました。また、委員会の調査分析活動等や事業事務において AI の活用を導入し、安全に活用できるための注意喚起をおこないました。あわせて改正公益法人法への対応を進めました。

財政面について、理事会において中長期的な財務状況のシミュレーションをふまえた中期財政計画について社員（都道府県連盟）に説明し、総会の決議を踏まえ、持続可能な財政のための具体的な検討にとりかかりました。

4. 運動の仲間の減少を止める

2024 年度からテンドーフット部門・ブラウニー部門新規入会者の日本連盟会費を無料にする「入会応援キャンペーン」の取り組みを進めています。2025 年度については残念ながら前年度の新規入会者数を超えることができませんでしたが、会員減少率を抑制する一助となりました。

またオンラインを活用し、「保護者座談会」や各県連盟の委員を対象とした「委員の皆さんあつまれカフェ」を開催しました。「保護者座談会」は、団や県連盟の枠を超えた情報交換やユース年代のガールスカウトジャーニーを聞くことにより、ガールスカウト活動の魅力を感じ、ガールスカウト活動へのかかわりを深めてもらえるよう実施しました。「委員の皆さんあつまれカフェ」でも同様に県連盟の枠を超えて、日頃の疑問の解消や全国に仲間がいることを実感しモチベーションの向上につながるよう実施しました。

少女会員から成人会員への継続登録を促進するための取り組みとしては、2025 年度に導入したサブ登録についてユース年代等への普及を進めたほか、2024 年度と同様に小 6、中 3、高 3 のフライアップ学年へのメッセージを作成しました。

5. 社会に対するアピール力を高める

2025年度は社会へのアピールとして、のべ約2,902万人が来場した大阪・関西万博のウーマンズパビリオン「WAスペース」にてイベントを開催しました。ウーマンズパビリオンは、内閣府男女共同参画局及び経済産業省が「女性活躍推進館」として出展者を募集し、リシュモンジャパン株式会社 カルティエが政府と協働して企画運営したパビリオンです。イベントの参加方法はウェブでの予約申し込み制のため、大阪・関西万博のウェブサイトにてイベント募集の案内を掲載したほか、プレスリリース等でメディアに向け告知をおこないました。残念ながらメディア取材はありませんでしたが、一般参加者を含めた約160人の参加者がいる場で、社会での無意識のジェンダー差別をなくしていくために自分たちにできることを考える機会を設けることができました。パネルディスカッションではジェンダーの専門家である大学教授のほか、ガールスカウトの高校生年代・ユース年代の会員、日本ボーイスカウト大阪連盟のユース年代の会員に登壇いただき、ジェンダー平等が実現する未来への期待をメッセージとして伝えました。イベントの開催にはガールスカウト大阪府連盟に多大なるご協力をいただきました。

ガールスカウトのアクティブコミュニケーションの場として、Instagramのサブアカウント #Listen to Girls を新たに開設し、2024年度に実施した『ジェンダーに関する意識調査2024』報告書の内容や、ユース年代のアクティブな取り組みを発信しました。ジェンダー意識調査2024チームは、2025年度、調査内容を広めることに取り組み、大阪・関西万博日本連盟イベント、都道府県連盟運営者が参加する連盟運営者会議のほか、外部団体である一般社団法人 Girls Unlimited Program と国際ゾンタ 東京IIIゾンタクラブ主催のオンラインセミナーの計4回、講演・発表することができました。ウェブでも日本連盟公式ブログで1回、Instagram サブアカウント #Listen to Girls で9回、社会への発信をおこないました。

主な外部連携としては、国立研究開発法人 防災科学技術研究所との共催で親子防災教室を2回実施し、295人に防災の備えを学ぶ機会を提供しました。

ダヴ（ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社）との連携による容姿に関する自己受容・自己肯定を向上するプログラム「Free Being Me」普及の取り組みでは、ダヴのイベントにガールスカウトの成人会員が講師として10回関わり、のべ728人の一般の方にプログラムを実施しました。また同社から会員内での同プログラムの実施のために助成金の提供を受け、6,129人が取り組みました。

2025年度新たな寄付連携先としてチャリティー専門ファッションブランド JAMMIN とのコラボレーションによる寄付キャンペーンを実施し、816,285円の寄付を受け取ることができました。いただいたご寄付は Free Being Me の普及に活用しました。

AIの急激な普及により一般的にウェブサイトへのアクセスが減る中、日本連盟公式ホームページのアクセスも減少しましたが、直帰率を前年度比6%改善することができたことから、目的をもって訪問するユーザーには複数のページをしっかりと読んでもらうことができました。会員向け情報のページは、会員がより情報を見つけやすくすることを目指して12月にリニューアルをおこないました。

またガールスカウトの認知度を向上するために、SNS運用解説動画の作成・資料の提供、LINEトーク下へのメニュー表示の提案、チラシが作れない団のサポートにひな形の作成、会員が自分のことばでガールスカウトの魅力を伝えられることを目指した「わたしにとってのガールスカウト」の実施などに取り組みました。

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2025 年度（令和 7 年度）事業報告

（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

（１）公益目的事業について

公 1 ガールスカウト運動を普及することにより、社会に役立つ人材を育成し、よりよい社会の実現を目指す事業

公 1-1) ガールスカウト教育の計画策定と推進

目的を達成するために、ガールスカウト教育に関わる事項について、世界連盟、世界連盟に加盟する各国（及び地域）連盟、都道府県連盟、他団体との協力により、その計画を策定するための会議を実施する。また、策定された計画を全国で推進するために、「モデルとなる事業」「会員の力を結集して社会貢献する事業」「世界レベルでの活動を推進するための会議及び事業」を実施する。

（事業内容）

① 計画策定のための会議

会議名	理事連絡会
期日	年 6 回（オンライン・ガールスカウト会館での開催）

有識者の会	
会議名	評議員会
期日	12 月 13 日（土）（オンライン）
会議名	顧問会
期日	2026 年 2 月 23 日（月・祝）（ガールスカウト会館）
会議名	フレンズ オブ ザ ボード 定期交流会
期日	2026 年 2 月 23 日（月・祝）（ガールスカウト会館）

事業名	連盟長会議
実績	期日：6 月 15 日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：連盟長 46 人

事業名	連盟運営者会議
実績	期日：11 月 16 日（日）（オンライン） ※11 月 15 日（土）夜に自由参加プログラム 参加者：都道府県連盟の理事・監事・事務局担当者 257 人 (16 日 191 人、15 日 147 人、15 日会員一般参加 49 人)

戦略委員会	
委員会名	これからのガールスカウト運動を考える委員会
	・6回開催（オンライン）
	これからのガールスカウト運動を考える委員会＜組織検討チーム＞
	・22回開催（オンライン）

② モデルとなる事業

事業名	年少部門対象事業（防災科学技術研究所との協働事業）
実績	防災・減災イベント「地震のそなえ」 期日：9月21日（日） オンライン開催 参加者：156人（小学生49人・その他の年代107人）
	KIZUNA Day2026 イベント みんなで学ぶ防災教室「気象災害へのそなえ」 期日：2026年3月8日（日） オンライン開催 参加者：139人（小学生67人・その他の年代72人）

事業名	STEAM教育への取り組み
実績	Chip Camp in 奈良（シニア・レンジャー部門（高1年代）対象） 期日：4月1日（火）～4月3日（木） 会場：会場：奈良ユースホステル 参加者：58人
	Girls going tech（ジュニア部門対象） 期日：7月27日（日） 会場：カトリック観音町教会（暁の星幼稚園） 参加者：20人
	Girls going tech（ジュニア部門対象） 期日：8月16日（土） 会場：ガールスカウト会館 参加者：36人
	Chip Camp in 東京（シニア・レンジャー部門（高1年代）対象） 期日：2026年2月21日（土）～2月23日（月・祝） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：53人
	アメリカ連盟海外支部とのSTEAMプログラム（シニア・レンジャー対象） 期日：2026年3月7日（土） 参加者：18人
	STEAMバッジプログラムの普及 ・バイナリーバッジリーダー向け勉強会 期日：9月28日（日） 会場：オンライン 参加者：95人

事業名	B-P アワード
実績	応募3件、受賞3件

事業名	年長部門地区事業			
実績	全国7地区においてクリエイティブチャレンジプログラムの実施 参加者総数：600人			
	地区（担当連盟）	期日	会場	参加者
	北海道・東北地区 （青森県連盟）	11月1日（土）～ 11月2日（日）	青森県立梵 珠少年自然 の家	シニア 32人 レンジャー 19人 指導者 35人 合計 86人
	北関東地区 （埼玉県連盟）	11月1日（土）～ 11月2日（日）	埼玉県県民 活動総合セ ンター	シニア 35人 レンジャー 18人 指導者 60人 合計 113人
	南関東地区 （東京都連盟）	10月12日（日） ～10月13日 （月・祝）	国立オリン ピック記念 青少年総合 センター	シニア 39人 レンジャー 16人 指導者 25人 合計 80人
	北陸・東海地区 （愛知県連盟）	9月13日（土）～ 9月14日（日）	愛知県美浜 自然の家	シニア 47人 レンジャー 28人 指導者 30人 合計 105人
	近畿地区 （奈良県連盟）	7月26日（土）～ 7月27日（日）	生駒山麓公 園 ふれあ いセンター	シニア 29人 レンジャー 17人 指導者 24人 合計 70人
	中国・四国地区 （広島県連盟）	7月19日（土）～ 7月20日（日）	広島市三滝 少年自然の 家	シニア 29人 レンジャー 11人 指導者 42人 合計 82人
	九州・沖縄地区 （宮崎県連盟）	9月13日（土）～ 9月14日（日）	宮崎県立農 業大学校 農業総合研 修センター	シニア 25人 レンジャー 13人 指導者 26人 合計 64人

事業名	レンジャーキャンプ
実績	テーマ：防災スペシャルマイスター ～レンジャーにまかせて！～ 期日：8月5日（火）～8月8日（金） 会場：戸隠ガールスカウトセンター 参加者：レンジャー87人 スタッフ25人 外部講師2人

事業名	戸隠ガールスカウトセンターを活用した教育の実践
実績	期日：4月26日（土）～11月3日（月・祝） （22頁「戸隠ガールスカウトセンターの管理運営」参照）

事業名	戸隠ガールスカウトセンター 夏期利用事前研修
実績	期日：5月24日（土）会場：オンライン

③ 事業運営のための委員会

委員会名	教育・指導者委員会
実績	全体：3回開催（オンライン） 事業担当ごと会議：複数回（オンライン）

④ 会員の力を結集して社会貢献する事業

事業名	環境教育
実績	環境問題について考え、持続可能な社会の構築につながるプログラムの実施

事業名	地域支援事業
実績	0件

事業名	コミュニティアクション チャレンジ 100（CAC100）アワード
実績	<受賞プロジェクト> ・グランプリ 該当なし ・コミュニティアクション賞 あそぼうさい in ときわ（防災）公園 ・日能研賞 オレンジハートプロジェクト～オレンジリボン運動を広めよう～ ・チャレンジ賞 LGBTQ+の正しい理解周知活動。個人の個性を大切にできる社会へ。 ・チャレンジ賞 サステイナブルコーヒープロジェクト ・チャレンジ賞 パープル Book 大作戦 2024 <表彰式> 10月19日（日）※ガールズメッセで実施

事業名	ガールズメッセ
実績	テーマ：私の声から広がる世界 期日：10月19日（日） 会場：ガールスカウト会館・オンライン 参加者：409人 16都道府県連盟 内容：私の声（意見）を届ける手法を年代別に学ぶ 第1部 年少部門向けプログラム「おやつ選挙」 第2部 表彰式・活動報告：CAC100アワード、B-Pアワード 第3部 年長部門向けプログラム「声の届け方」

事業名	会員継続の支援
実績	継続率向上に向けたメッセージの送付（10月） ・フライアップ年代の小6、中3、高3年代にメッセージを都道府県連盟、団を通してデータ送付 大学等入学試験にかかる推薦書、活動証明書の発行 ・63件（18都道府県連盟、37人）

事業名	国内交流事業
実績	申請数：6件

⑤ 世界レベルでの活動を推進するための会議及び事業

事業名	国際理解支援事業
実績	<海外研修渡航費補助> 6府県連盟 6件 茨城県連盟、埼玉県連盟、静岡県連盟、愛知県連盟、京都府連盟、和歌山県連盟 <国際紹介状の発行> 9件（県連盟・団・協議会：7件、個人〔留学など〕2件）74人 <国際交流申請> 18件（海外研修：14件、日本在住のアメリカ連盟会員との国内交流：2件、個人〔留学など〕2件）参加者151人 <海外連盟プログラムの紹介> 随時 <招へい申請> 2件

事業名	海外研修本部派遣（成人）
実績	ヘレン・ストロー・セミナー2026 期日：2026年1月31日（土）～2月7日（土） 会場：アワシャレー、スイス 参加者：なし

事業名	第15回アジア太平洋地域会議派遣
実績	期日：8月19日（火）～8月23日（土） 開催国：インド 参加者：正代表2人、オブザーバー2人

事業名	ワールドシンキングデイの実施
実績	テーマ：友情 期日：2026年2月22日（日）周辺で実施 ・世界連盟が発行した活動パックの日本連盟版の発行 ・世界連盟への寄付 1,521,386円

公1-2) ガールスカウト教育の推進のための指導者養成事業

公1-1) で策定された教育計画の実施に当たって、少女と若い女性の活動を支援するための指導者や、さらにこの運動を発展させるための成人の活動を支援するための指導者を養成する事業を実施する。

（事業内容）

① ガールスカウト教育を実施する指導者の養成事業

事業名	リーダー養成講習
期日	年間
実績	リーダー養成講習 229回（45都道府県連盟で開催）

事業名	指導者研修
期日	年間
実績	指導者研修 218 回（320 単位）（42 都道府県連盟で開催）

会議名	理事研修
実績	① 期日：6 月 14 日（土） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター ② 期日：8 月 30 日（土）～8 月 31 日（日） 会場：ガールスカウト会館

事業名	トレーナーセミナー
実績	トレーナーセミナー ・テーマ：リーダーシップトレーニング 期日：12 月 6 日（土）～12 月 7 日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：39 都道府県連盟 82 人 トレーナーセミナー（オンライン） ・テーマ：リーダーシップトレーニング～基礎編～ 期日：10 月 10 日（金）または 10 月 11 日（土） 参加者：31 都道府県連盟 75 人 ・テーマ：地球環境の課題を考える ～SDGs 達成目標期限まであと 5 年～ 期日：11 月 9 日（日） 参加者：26 都道府県連盟 54 人 ・テーマ：リーダーシップトレーニング～ダイジェスト編～ 期日：2026 年 2 月 7 日（土）または 2 月 8 日（日） 参加者：29 都道府県連盟 76 人 トレーナーの単位Ⅰ（オンライン・eラーニング） 期日：12 月 26 日（金）～2026 年 3 月 31 日（火） 取得者数：41 都道府県連盟 171 人

事業名	クリエイティブチャレンジプログラムファシリテーター養成研修
実績	期日：5 月 4 日（日・祝）～5 月 6 日（火・振） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：30 人、スタッフ 12 人、外部講師 4 人

事業名	オンライン指導者研修
実績	・全国のリーダーあ・つ・ま・れ！ 期日：6 月 27 日（金）、11 月 29 日（土）、2026 年 1 月 16 日（金） 参加者：合計 127 人 ・バイナリーバッジリーダー向け勉強会 期日：9 月 28 日（日） 参加者：95 人

	・ワールドシンキングデイ 2026 期日：2026年1月18日（日）（午前）、2026年1月18日（日）（午後）、 2026年1月23日（金）、2026年1月24日（土） 参加者：合計 295 人 ・GE* リーダー育成研修 期日：2026年3月14日（土） 参加者：合計 56 人
--	--

事業名	大人の Free Being Me 体験集会
実績	「FBM 第3段階 大好きなわたし」（オンライン） 期日：6月29日（日） 参加者：40 人（一般参加者 1 人含む）

事業名	GE アンバサダーフォローアップ研修
実績	第1回（オンライン） 期日：6月6日（金） 参加者：30 人 第2回（国立オリンピック記念青少年総合センター） 期日：12月7日（日） 参加者：25 人 第3回（オンライン） 期日：12月19日（金） 参加者 33 人

事業名	FBM フォローアップ研修
実績	期日：4月13日（日）（オンライン） 参加者：GE リーダー、FBM リーダー 31 人

事業名	GE キャラバン（実践的指導者研修）
実績	実施なし

事業名	FBM**キャラバン（実践的指導者研修）
実績	・福岡県連盟 期日：10月4日（土） 参加者：少女 22 人、成人 21 人 ・千葉県連盟市浦地区 期日：2026年1月25日（日） 参加者：少女 22 人、成人 29 人 ・熊本県連盟 期日：2026年2月1日（日） 参加者：少女 17 人、成人 20 人 ・群馬県連盟 期日：2026年3月8日（日） 参加者：少女 35 人、成人 59 人

GE* =Gender Equality

FBM**：ガールガイド・ガールスカウト世界連盟とパーソナルケアブランドのダヴが協働で作成したプログラム。自己肯定感を高めるとともに、社会の問題に目を向け、変化をもたらすための行動をとれるようになることを目指す。

事業名	トレイナー養成・育成勉強会
実績	期日：8月30日（土）（オンライン） 参加者：16 都道府県連盟 36 人（支援者 17 人、候補者 19 人）

事業名	トレーナーへの支援
実績	・トレーナー用ウェブページの運営 ・トレーナー情報共有プラットフォーム Slack の運営

事業名	リーダーへの支援
実績	教材開発 ホームページ充実

事業名	新任連盟長研修
実績	期日：6月14日（土） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：新任連盟長 10人

事業名	役職別情報交換会
実績	期日：9月27日（土）（オンライン） 参加者：都道府県連盟の理事・監事・事務局職員 201人

事業名	連盟長連絡会
実績	期日：2026年2月23日（月・祝）（オンライン） 参加者：都道府県連盟 連盟長・副連盟長等 86人

事業名	都道府県連盟支援
実績	・県連盟理事とのオンラインミーティング・理事研修、相談対応 ・都道府県連盟理事研修（オンライン）：1回 ・組織拡充のための理事等派遣：2回 ・連盟長 Slack の運営

事業名	表彰	
実績	功労章	桐章6人、菊章16人、梅章21人
	永続奉仕章	70年1人、60年11人、50年61人、40年137人 30年152人、25年204人、20年197人、10年346人
	団永続章	70年14カ団、60年16カ団、50年34カ団、40年18カ団 30年4カ団、25年4カ団、20年2カ団、10年1カ団
	都道府県連盟永続章	75年1都連盟、50年3県連盟
	ガールスカウト活動賞	29カ団
	感謝状	日本連盟へ事業協力いただいた道府県連盟 11件 ・レンジャー全国キャンプ実施協力：長野 ・STEAM教育プログラム実施協力：奈良、広島 ・「大阪・関西万博イベント」実施協力：大阪 ・「Free Being Me 大好きなわたし」：実施協力：北海道、埼玉、千葉、静岡、大阪、熊本、宮崎 県連盟からの申請 10件 その他、日本連盟関係：2件 計 20件
	会員数増加団	215カ団
	新入会者多数団	127カ団（2025年度新入会者5人以上）

② 指導者の認定事業

事業名	ガールスカウト 트레이ナー認定講習会・審査会
実績	期日：2026年1月11日（日）～1月12日（月・祝） 会場：ガールスカウト会館 参加者：プログラムトレーナー 13人
事業名	プログラムトレーナー認定審査会
実績	期日：2026年1月10日（土）（オンライン） 参加者：トレーナー候補者 15人

③ 指導者派遣事業

事業名	リーダー養成講習・指導者研修 指導者派遣
実績	島根県連盟 講習 A・講習 B（ジュニア部門） 期日：6月14日（土）～15日（日） 会場：ビックハート出雲（出雲市） 参加者：講習 A 1人／講習 B 4人

④ 専門委員会

委員会名・実績	成人トレーニング委員会 13回開催（オンライン）
	指導者養成育成見直しチーム 11回開催（オンライン）

公 1-3) ガールスカウト教育に必要な資料・教材等の開発及び頒布

公 1-1) で策定された教育計画を推進する目的に必要な資料及び教材等の開発・制作及び頒布を行う。

開発に当たっては、教育計画策定に当たる委員会や専門家がかかわる。頒布に当たっては、ホームページでの公開などにより、誰もが入手できる方法を確保している。

（事業内容）

資料名	教材等の製作・発行 ・ Free Being Me 第3段階リーダーズガイド ・ バイナリーバッジ リーダー向け勉強会動画 ・ 今こそ知りたいガールスカウト教育 2032に向けて ・ ガールスカウトがキャンプに行く前に読む本 ・ 2025年ワールドシンキングデイ活動パック ガールスカウト運動
	『Girl Scouts' News』の発行 年3回、全会員対象に PDF で発行 ・ vol.23 6月27日発行 ・ vol.24 2026年1月9日発行 ・ vol.25・26 合併号 2026年3月31日発行

その他教材

『バッジブック』（各部門）、各部門バッジ各種、『楽しい野外』、『楽しいソング』、『楽しい料理』、『元気の種本（春夏）』、『ガールスカウト活動の基礎』、『ガールス

カウトのソング CD』、『指導者養成講習資料』、『指導者の手引き』、『挑戦し続ける運動』、『ブラウニー物語』、『B-P のことば』、『ガールスカウト活動の安全』、『防災マイスターアクティビティ集』、『ガールスカウトお金について考えよう』、『Be The Change - わたしが変わる。未来が変わる。14 歳以上のガールスカウトのためのコミュニティ・アクション・プログラム ガイドブック』、『アドボカシー活動を開始するためのガイドブック』、『GE リーダーズガイド』他

公 1-4) 社会連携事業

ガールスカウト運動を普及し、よりよい社会の実現を目指すために、社会と連携した事業の実施及び社会への提言をする。

(事業内容)

① 事業

事業名	SDGs への取り組み
実績	SDGs バッジ取得数 578 個

事業名	SDG5*の促進
実績	Free Being Me (FBM**) 第3段階 ・取り組んだ人数：大好きなわたし 1,831 人、行動編 159 人 ・ダヴとの協働イベントの実施 (19・20 頁 他団体との連携参照) ・FBM 大好きなわたしバッジ 1,011 枚 ・FBM 行動編バッジ 187 枚 ・「FBM 第3段階 大好きなわたし」(オンライン体験集会)の実施 期日：11月30日(日) 参加者：166人(22カ団、少女113人、成人53人) GE バッジプログラム 普及促進 ・GE リーダー育成研修(オンライン) 1回開催 参加者 計56人 ・GE アンバサダーフォローアップ研修(オンライン、対面)3回開催 参加者 計150人 ・「わたしとみんな」GE バッジ WEB イエローバッジ 190 枚 ・「わたしとみんな 行動編」GE バッジ対面オレンジバッジ 213 枚 ・「me and them」GE バッジ WEB ミントバッジ 57 枚 ・「me and them 行動編」GE バッジ対面グリーンバッジ 16 枚

注) SDG5*：SDGs 目標 5「ジェンダーの平等を実現しよう」に向けて、(GE*平等バッジ、FBM 大好きなわたしバッジ、FBM 行動編バッジ)の取り組み促進をおこなう。

事業名	ジェンダー平等を実現するための社会への働きかけ
実績	「ジェンダーに関する意識調査 2024 報告書」による普及活動 ＜イベントでの登壇＞ ・大阪・関西万博イベント「わたしの気持ち、みんなの気持ち」 期日：9月13日(土) 会場：大阪・関西万博ウーマンズパビリオン「WA」スペース 参加者：約160人

	・連盟運営者会議 期日：11月16日（日） 会場：オンライン 参加者：191人 ・Girls Unlimited Program × Girl Scouts Special Seminar 自ら考え、行動できる女性を育てるために ガールスカウトが目指す教育と「ジェンダー調査 2024」 主催：一般社団法人 Girls Unlimited Program 期日：2026年3月9日（月） 会場：オンライン ・ZONTA ローズデー（国際女性デー）ジェンダー意識調査から見たもの ～隠れたカリキュラムと無意識のジェンダーバイアス～ 主催：国際ゾンタ 東京Ⅲゾンタクラブ 期日：2026年3月18日（水） 会場：オンライン <公式ブログ・SNSでの広報> ・ガールスカウト公式ブログへの掲載 年1回 ・Instagram #Listen to Girls での発信 年9件投稿
--	--

事業名	防災・減災教育
実績	・防災マイスターアクティビティ集を活用した団でのプログラムの促進： 防災マイスターバッジ 795 個 ・防災・減災イベント みんなで学ぶ防災教室「地震のそなえ」 期日：9月21日（日） 会場：オンライン 参加者：156人（小学生49人・その他の年代107人）

事業名	ガールスカウトの日 全国一斉イベント
実績	5月22日を中心とした5月に全国で実施

事業名	国際ガールズ・デーイベント
実績	「ガールズメッセ 2025」を開催 期日：10月19日（日）

事業名	女性に対する暴力防止キャンペーン
実績	・ガールスカウト会館のパープルライトアップ&SNS掲載 期間：11月12日（水）～11月25日（火） ・ガールスカウト会館のオレンジ・ライトアップ&SNS掲載 期間：11月26日（水）～12月10日（水）

事業名	ワールドシンキングデー
実績	2026年2月22日（日）を中心として全国で実施 ・世界連盟が発行した活動パックの日本連盟版の発行 ・SNS 投稿 Instagram ワールドセンターの紹介

	・公式ホームページ会員向け情報 世界から届いたワールドシンキングデイカード3件掲載
--	--

事業名	国際女性デー
実績	2026年3月8日（日） Instagram #Listen to Girls での発信

事業名	KIZUNA Day
実績	2026年3月11日（水）前後に全国各地で実施

事業名	体験活動の促進
実績	会員増のための一斉キャンペーンの実施 ・ガールスカウトの日（春・夏入会促進事業） ・おやこでチャレンジ（秋入会促進事業） 9月～12月 ・春の体験集会（春入会促進事業） 2月～4月 外部活用（「コドモブースター」の活用等） オンライン体験集会 ・「ふわもこ小物入れをつくろう」 期日：2026年1月18日（日） 参加者：31グループ（21都府県連盟）218人（うち、少女118人） 実行委員3人（ユース年代） 入会・継続促進事業 ・「保護者座談会」 期日：11月30日（日） 申込者：14人（10府県連盟） ・「都道府県連盟 委員の皆さん集まれカフェ」 期日：12月12日（金） 申込者：43人（16都道府県連盟） ・入会応援キャンペーン 新規入会者 945人（テンダーフット241人、ブラウニー704人）に対し、 トレフォイルファンド積立資産から会費全額を助成

事業名	会員会費助成
実績	・児童養護施設在籍の少女会員への支援：会費半額助成19人（4カ団） （うち2人は入会応援キャンペーン対象） ・被災会員への支援：3県連盟 会費半額助成25人、会費全額助成3人

事業名	災害被災地支援事業
実績	令和6年能登半島地震 被災者支援 ・能登半島震災支援プロジェクト ユース年代会員8人を募集。応募者が最少催行人数に満たず中止

事業名	広報イベントおよび広報キャンペーンの展開
実績	<おやこでチャレンジ>

	期間：9月～12月 ＜春の体験集会＞ 期間：2026年2月～4月
事業名	ガールスカウトのPR
実績	＜Google 広告＞ Google の検索結果に表示される広告。Google for Nonprofit プログラムにより月 10,000US ドル分まで無償で掲載。 広告期間：4月1日（火）～2026年3月31日（火） 対象：Google 検索を使用するすべての人 目的：ガールスカウト以外の語句での検索結果のアクセスを獲得する 広告表示回数：83,706 リンククリック数：9,250 ＜プレスリリース＞ 年間配信数：8件 PR TIMES 総ページビュー数 31,812 回、訪問者数 31,758、転載サイト数 234 ＜コードモブスターへの掲載＞ こどもの習い事を検討する保護者への露出を目的に、習い事サイト「コードモブスター」に登録を希望する団情報を掲載した。 掲載団数：706 カ団 ＜ホームページ、SNS 等の運営＞ ・日本連盟公式ホームページ アクセス数：425,385（昨年度比 -18.97%） セッション数：186,284（昨年度比 -7.43%） 新規ユーザー数：126,835 人（昨年度比 -10.31%） ・日本連盟公式ブログ サイトビュー数：106,014PV（昨年度比 -44.6%） 公開記事数：25 記事 ・SNS 等の運営 Instagram フォロワー：4,958（昨年度より 591 増） リーチ：42,628（昨年度より 11,873 増） Instagram #Listen to Girls フォロワー：400 Facebook フォロワー 9,888 YouTube チャンネル登録者 2,110（昨年度より 120 増） X フォロワー 2,284 LINE 友だち 4,499 ＜広報資料の制作＞ ・リーフレット（2026年2月改版）37,000 部制作 ・入会案内パンフレット 30,000 部制作 ・アクティビティレポート 2024 10,000 部制作 ・2026 年カレンダー 無償配布 765 部制作
事業名	大阪・関西万博でのイベント開催
実績	大阪・関西万博ウーマンズパビリオンイベント「わたしの気持ち、みんなの気持ち」 期日：9月13日（土）1回目 13:00～15:00、2回目 16:30～18:30

	会場：大阪・関西万博ウーマンズパビリオン「WA」スペース （ウーマンズパビリオン運営事業者：リシュモンジャパン株式会社 カルティエ） 参加者：約 160 人 実行委員：5 人、理事：2 人、職員 2 人 登壇者：6 人（うち少女会員 2 人、成人会員 1 人）
--	--

事業名	他団体との連携																								
実績	< ガールスカウト推進議員連盟総会 > 期日：6 月 3 日（火） 会場：衆議院第二議員会館 参加者：46 人（議員・代理出席者） < 役員その他団体役員等就任状況 > <table border="1"> <tr> <th>団体名</th><th>役職名</th></tr> <tr> <td>内閣府・男女共同参画推進連携会議</td><td>議員</td></tr> <tr> <td>独立行政法人国立青少年教育振興機構</td><td>推進委員会委員</td></tr> <tr> <td>体験の風をおこそう運動</td><td>企画推進チーム委員</td></tr> <tr> <td>公益社団法人国土緑化推進機構</td><td>緑の募金運営協議会委員</td></tr> <tr> <td></td><td>緑の少年団表彰審査委員会委員</td></tr> <tr> <td>公益社団法人日本キャンプ協会</td><td>理事</td></tr> <tr> <td>公益財団法人日本ユニセフ協会</td><td>顧問</td></tr> <tr> <td>一般財団法人日本ユースホステル協会</td><td>評議員</td></tr> <tr> <td>社会福祉法人中央共同募金会</td><td>評議員</td></tr> <tr> <td>特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会</td><td>理事</td></tr> <tr> <td>公益財団法人ボーイスカウト日本連盟</td><td>評議員</td></tr> </table> < 国立研究開発法人 防災科学技術研究所（防災） > 防災・減災イベント ① みんなで学ぶ防災教室「地震のそなえ」 期日：9 月 21 日（日） オンライン開催 参加者：156 人（小学生 49 人・その他の年代 107 人） ② KIZUNA Day2026 イベント みんなで学ぶ防災教室「気象災害へのそなえ」 期日：2026 年 3 月 8 日（日） オンライン開催 参加者：139 人（小学生 67 人・その他の年代 72 人） < 大阪・関西万博への協力（環境・ジェンダー） > 国連環境バッジ*の取り組み（大阪府連盟との連携） *国連環境計画（UNEP）の協力のもと開発された、世界中の若者たちがプラスチック汚染問題に取り組むことを支援する世界連盟のバッジプログラム	団体名	役職名	内閣府・男女共同参画推進連携会議	議員	独立行政法人国立青少年教育振興機構	推進委員会委員	体験の風をおこそう運動	企画推進チーム委員	公益社団法人国土緑化推進機構	緑の募金運営協議会委員		緑の少年団表彰審査委員会委員	公益社団法人日本キャンプ協会	理事	公益財団法人日本ユニセフ協会	顧問	一般財団法人日本ユースホステル協会	評議員	社会福祉法人中央共同募金会	評議員	特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会	理事	公益財団法人ボーイスカウト日本連盟	評議員
団体名	役職名																								
内閣府・男女共同参画推進連携会議	議員																								
独立行政法人国立青少年教育振興機構	推進委員会委員																								
体験の風をおこそう運動	企画推進チーム委員																								
公益社団法人国土緑化推進機構	緑の募金運営協議会委員																								
	緑の少年団表彰審査委員会委員																								
公益社団法人日本キャンプ協会	理事																								
公益財団法人日本ユニセフ協会	顧問																								
一般財団法人日本ユースホステル協会	評議員																								
社会福祉法人中央共同募金会	評議員																								
特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会	理事																								
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟	評議員																								

	<ダヴ（ユニリーバ）FBM 普及協力（ジェンダー）> 内容：DoveDay FBM ワークショップ 期日：7月7日（月） 会場：第一学院高等学校 熊本キャンパス（熊本県） 担当： 트레이ナー2人 参加者：20人 内容：サツドラ×ユニリーバ 高校生向け FBM 実施 期日：10月3日（金） 会場：白樺学園高等学校(北海道) 担当：トレーナー1人、職員1人 参加者：30人 内容：サツドラ×ユニリーバ 親子向け FBM ワークショップ 期日：10月4日（土）2回開催 会場：芽室町中央公民館(北海道) 担当：トレーナー1人、リーダー2人、少女会員2人、職員1人 参加者：26人 内容：DoveDay FBM ワークショップ 期日：10月8日（水） 会場：国際学院高等学校（埼玉県） 担当：トレーナー2人 参加者：90人 内容：DoveDay FBM ワークショップ 期日：10月16日（木） 会場：大阪府立吹田東高等学校（大阪府） 担当：トレーナー3人 参加者：320人 内容：サツドラ×ユニリーバ 親子向け FBM ワークショップ 期日：10月18日（土）2回開催 会場：サツドラ本社(北海道) 担当：トレーナー1人、リーダー2人、少女会員5人、職員1人 参加者：72人 内容：DoveDay FBM ワークショップ 期日：10月31日（金） 会場：沼津市立今沢中学校（静岡県） 担当：トレーナー2人 参加者：90人 内容：DoveDay FBM ワークショップ 期日：11月17日（月） 会場：わせがく高等学校 勝田台キャンパス（千葉県） 担当：トレーナー2人、職員1人 参加者：80人
--	---

	<IYF・バーバリー財団（リーダーシップ）> 内容：IYF ヤングリーダープログラム 会場：オンライン研修（5回）、メンタープログラム 参加者：2人（募集枠2人）
	<独立行政法人 国立青少年教育振興機構> 「令和7年度 未来を拓く子供応援フォーラム」ポスターセッション参加 期日：2026年3月13日（金） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
	<一般社団法人 日本損害保険協会（防災・防犯・交通安全）> 小学生のぼうさい探検隊マップコンクールへの参加
	<横浜グリッツ> アイスホッケー観戦招待、ボランティア参加 内容：アイスホッケー観戦 期日：9月7日（日） 会場：KOSÉ 新横浜スケートセンター（神奈川県） 参加者：11人 内容：アイスホッケー観戦&東南アジア地域支援ボランティア 期日：12月6日（土） 会場：KOSÉ 新横浜スケートセンター（神奈川県） 参加者：19人（全員がボランティアにも参加） 内容：アイスホッケー観戦&スポーツボランティア募集 期日：2026年2月15日（日） 会場：東京辰巳アイスアリーナ（東京都） 参加者：観戦11人、ボランティア5人

事業名	ボランティアプールの導入
実績	<Creative TEAM> 人数：ユース年代10人 活動内容：事業開催チラシ制作、LINEスタンプ制作、メルマガ使用写真提供、Instagram投稿制作、Tシャツデザイン制作、活動写真撮影

② 専門委員会

委員会名	SDG5推進委員会
実績	全体：16回開催（オンライン）

委員会名	コミュニケーション戦略委員会
実績	全体ミーティング：11回開催（オンライン）

チーム名	コミュニケーション戦略委員会<ジェンダー調査チーム>
実績	コミュニケーション戦略委員会と合同：3回開催（オンライン） チーム会議：複数回（オンライン）

公 1-5) ガールスカウト教育に必要な施設の運営

東京都渋谷区にガールスカウト会館、長野県長野市に戸隠ガールスカウトセンターを保有し、公 1-1) により策定したガールスカウトの教育計画を具体的を実施するために不可欠な施設として運営している。

ガールスカウト会館は、東京都心であり、全国で活動する会員が一堂に会し会議や活動をする場としてのみならず、ガールスカウトの歴史的展示物や、ガールスカウト活動・教育に関する資料の展示を行って一般にも広く開放している。また、当連盟の事務局がおかれ、当連盟全体の業務を執行している。

なお、2019 年度 10 月から、公 1) に掲げる事業の改善及び推進に必要な財源を確保し、公益事業としてのガールスカウト教育をより充実させるために、収 2) として同施設の一部を賃貸している。

戸隠ガールスカウトセンターは、妙高戸隠連山国立公園内に位置し、昭和 35 年に少女と女性が安全に安心して野外活動（キャンプ）をすることを目的に開設された。以来、当連盟が行う少女のための野外活動事業や指導者養成事業のほか、都道府県連盟や団のキャンプに利用されている。

両施設とも、本連盟の目的に適う団体に対し本連盟の事業に支障のない範囲で開放している。

事業名	ガールスカウト会館の管理運営（年間）
-----	--------------------

事業名	戸隠ガールスカウトセンターの管理運営
実績	春期期間：4 月 26 日（土）～7 月 11 日（金） 利用者数：宿泊 延べ 269 人 日帰り 108 人（利用グループ 16 グループ）
	夏期期間：7 月 19 日（土）～8 月 31 日（日） 利用者数：宿泊 延べ 2,817 人 日帰り 265 人（利用グループ 15 グループ）
	秋期期間：9 月 1 日（月）～11 月 3 日（月・祝） 利用者数：宿泊 延べ 353 人 日帰り 74 人（利用グループ 13 グループ）

(2) 収益事業について

収 1 ガールスカウト関連事業

(事業内容)

ガールスカウト教育を行うために、活動に必要な需品の頒布を行う。

取り扱う品物は、以下のとおり

取り扱い品	備考
制服及びその付属品（ピン類、県別・団別章）	活動に参加する少女の安全の確保と、仲間意識の高揚と目的の共有、社会への存在アピールのため。また、成人に対しては、指導的立場にある者としての証として制服の頒布を行う。
教育活動に必要な物品	ガールスカウト活動の中心的活動のひとつである野外での活動を安全にかつ教育効果の高いものとするための物品の頒布を行う。
シンボルマーク入り製品	シンボルを利用した教育方法を行っているために、シンボルマーク等を付した物品の頒布を行う

収 2 不動産賃貸事業

(事業内容)

公 1 に掲げる事業の改善及び推進に必要な諸経費を確保し、公益事業としてのガールスカウト教育をより充実させるために、保有する不動産施設であるガールスカウト会館の1階部分の賃貸事業を行う。

賃貸物件	ガールスカウト会館1階部分
借主	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
内容	保育施設およびその事務所

(3) ガールスカウト日本連盟運営のための事業

① 事業等

会議名	理事会
期日・会場	年6回（オンライン）
内容	・理事会議題一覧参照

会議名	監査
期日・会場	5月10日（土）ガールスカウト会館
内容	・2024年度 事業報告について ・2024年度 決算について

会議名	第97回定時総会
期日・会場	5月31日（土）
会場	ガールスカウト会館（オンラインでの議決権行使）
内容	・第1号議案：2024年度事業報告（案）について ・第2号議案：2024年度決算報告（案）について ・第3号議案：中期財政計画（案）について ・第4号議案：次期役員の選任について

事業名	会員登録
実績	・年間（特別個人会員の登録を含む） ・登録手続き説明会 2026 期日：2026年1月25日（日） 方法：オンライン 参加者：都道府県連盟 登録担当者等 102人

事業名	会員データベースの活用
実績	・日本連盟表彰のうち永続奉仕章（成人会員）、団永続章、都道府県連盟永続章についてデータベースの登録情報から受章を決定 ・日本連盟理事の担当業務、委員会等、県連盟のリクエストによるデータ提供

事業名	助成金等の獲得
実績	(1) 助成金 ・「Chip Camp」「Girls Going Tech」への助成（Micron Technology Foundation, Inc.、子どもゆめ基金、AP地域3Lプロジェクト） ・クリエイティブチャレンジプログラムファシリテーター養成研修およびクリエイティブチャレンジプログラムへの助成（バーバリーグループ バーバリー財団 International Youth Foundation） ・大阪・関西万博イベントへの助成（公益財団法人 関西・大阪21世紀協会） (2) 委託事業収入 ・Free Being Me 取り組み人数に対する事業協力金

	2025 年度の取組数 6,129 人 ・ Free Being Me ワークショップ協働開催に対する委託費 (ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社)
--	--

事業名	寄付金の拡大						
実績	一般寄付、戸隠募金、賛助会費、賛助会員トレフォイル、マンスリー募金、ネット募金 (Yahoo! ネット募金ほか)、アフィリエイトなど ＜参考＞世界連盟への寄付 <table border="1"> <tr> <th>寄付金名</th><th>金額</th></tr> <tr> <td>国際友愛基金</td><td>1,438,359 円</td></tr> <tr> <td>サンガム指定寄付金</td><td>337,863 円</td></tr> </table>	寄付金名	金額	国際友愛基金	1,438,359 円	サンガム指定寄付金	337,863 円
寄付金名	金額						
国際友愛基金	1,438,359 円						
サンガム指定寄付金	337,863 円						

事業名	寄付促進キャンペーンの実施
実績	・ チャリティー専門ファッションブランド JAMMIN とのコラボレーションによる寄付キャンペーンの実施 ・ 6月8日「戸隠を想う日」寄付促進のためのチラシ作成・配布 ・ 賛助会員へのメッセージ募集・ポストカード配布

事業名	賛助会員トレフォイルの集い
実績	期日：11月29日（土） 会場：ガールスカウト会館 内容：日本連盟事業報告、トレフォイル会計報告、ピン授与式、サイレントオークション、テーマトークほか 参加者：16人、理事2人

事業名	予算委員会
実績	期日：11月23日（日・祝） 会場：ガールスカウト会館

事業名	事務局の強化
実績	・ ICT の活用推進 ・ 業務分野ごとの個別研修受講の推進 ・ 公益法人法改正に伴う研修の受講

② 専門委員会

委員会名	ファンドレイザーグループ（年3回開催 オンライン）
------	---------------------------

③ 理事会議題一覧

	開催年月日	主な決議事項等
理事会	5月10日 (土)	・ 第97回定時総会第1号議案：2024年度事業報告（案）について ・ 第97回定時総会第2号議案：2024年度決算報告（案）について ・ 第97回定時総会第3号議案：中期財政計画（案）について ・ 第97回定時総会第4号議案：次期役員の選任について ・ 第97回定時総会について ・ 表彰および感謝状について ・ 2025年度委員会委員について ・ 2025年度 트레이ナー認定審査員について ・ 諸規程の一部改定について ・ 2025年度海外引率リーダー渡航費補助について ・ 「学校保護宣言キャンペーン」に関する依頼に対する団体としての賛同について
理事会	6月1日 (日)	・ 定款で定める役職ならびに担当分野について（代表理事および業務執行理事の選定） ・ 2025年度委員委嘱について ・ 他団体の役員就任について ・ 諸会議の予定について
理事会	7月21日 (月・祝)	・ 担当理事について ・ 2025年度委員について ・ 第15回アジア太平洋地域会議 議決事項について ・ 2025年度マイクロン財団助成事業について ・ 能登震災支援事業について ・ B-P アワードの審査結果について ・ ガールスカウト会館の調査について ・ 都道府県連盟定款の一部変更について
理事会	10月4日 (土)	・ 感謝状およびガールスカウト活動賞について ・ 2025年度リーチアウトプロジェクト実施について ・ 能登震災支援プロジェクトについて ・ 会員に対する会費助成について ・ 2026年度入会応援キャンペーンおよび「コドモブースター」の継続実施について ・ 戸隠ガールスカウトセンター 落雷対応について ・ ガールスカウト会館の調査について ・ 2026年度事業計画案について ・ 都道府県連盟の定款の一部変更について ・ 戸隠運営検討チームについて ・ 2025年度委員委嘱について
理事会	2026年 1月24日 (土)	・ 事務局長人事について ・ 2026年度事業計画・予算について（中間報告） ・ 表彰について

	開催年月日	主な決議事項等
		・ 2026 年度委員会委任事項・委員候補者について ・ 2026-2027 年度評議員会について ・ 次期役員候補者選出のための役員選出委員選任について ・ 第 39 回世界会議議題について ・ 戦略的広報について
理事会	2026 年 2 月 28 日 (土)	・ 2025 年度（公社）ガールスカウト日本連盟表彰について ・ 2027 年度 年長部門地区事業について ・ 戦略計画 2027-2029 について ・ 入会応援キャンペーンに伴う会費助成について ・ 諸規程類の一部改定・新設等について ・ 2025 年度補正予算（案）および積立預金の取崩について ・ 2026 年度事業計画（案）について ・ 2026 年度予算（案）について ・ 2026 年度資金調達および設備投資の見込みについて ・ 第 98 回定時総会について ・ 2026 年度委員会委員について ・ 2026-2027 評議員会について ・ 外部団体からの名義使用申請および委員推薦依頼について ・ ALC 株式会社への請求について ・ 諸バッジについて

(4) 運営体制の充実を図るための取り組み

- ・ 当連盟における運営体制の充実に関しては、監事2名が就任し、このうちの1名は従前より外部監事として選任されている。2025年の総会で選任された監事はいずれも公益認定法の定めに合致している者である。特に外部監事には、法人の財務状況や資産管理を適正に評価でき、ガバナンスとリスク管理への極めて高い知見および経験を持つ者が就任している。外部監事は理事会への出席だけではなく、理事の研修への参加や事業実施時の見学等の情報提供に加え、当法人における独自の機関として監査会議を設置し適切な監査が行われるようにしている。監査会議は外部監事を含めた2名の監事、業務執行理事のうちで財務担当理事として選定された理事、会計顧問および事務局により構成される。会計顧問は適切な会計処理および財務諸表の開示のために、1名の公認会計士を理事会が任用し、月次で事務局の会計指導を行っている者である。監査会議においては財務担当理事、会計顧問、事務局からの意見の聴取、監事による監査の結果の共有等が行われている。監事による監査においては、監事監査基本方針および年間の監事監査計画を協議の上で決定し、これらに従い期中の監査、期末の監査を行っている。
- ・ 公益認定法の改正を受け、2025年度には外部理事として、公益法人の管理に通じる行政における管理業務の知見および経験を持つ者が就任している。理事の就任時研修として公益法人運営の専門家を講師として公益法人制度およびガバナンスについての研修を実施した。
- ・ この他に理事会に対する独自の外部諮問機関として評議員が理事会により選任され、評議員にて構成される評議員会が設置されている。評議員会は理事会から諮問された事項について参考意見を述べ運営への助言をおこなっている。また、任意の機関として顧問が選任され理事会の求めに応じ、運営への助言をおこなっている。

以 上